

Symphonic Starmine2026 無料招待！



コロナ禍では、物理的にコミュニケーションが制限され、人と集うことが当たり前ではありませんでした。「集う喜びや感動」を、もう一度体験してほしいという思いを込めて、無料招待します！

🕒 5月9日(土) 15:00~20:30 所 烏丸半島(下物町) 対 コロナ禍に市内の高校に在籍していた人

定 100人(抽選)(3月20日(金)祝)に当選発表

¥ 会場までのシャトルバスチケット要

申 3月15日(日)までに、専用フォームから

問 ・ Biwako Live Art Associationの公式LINE

・ 商工観光労政課(4階) ☎561-2351、FAX561-2486



歴史ギャラリー

本陣で遊ぶ子犬たち「狗子図腰高障子」(草津宿本陣蔵)

No.220

草津宿本陣の座敷部に続く畳廊下から庭を臨む正面、上段相の間に「腰高障子」が設えられていました。4枚の障子の下部、座ると目の高さぐらゐの位置に「狗子図」が描かれています。「狗子」とは子犬のこと。背景などは描かず余白を残した構図で、かわい子犬が遊んでいます。障子を開けると主庭が臨め、それを背に遊ぶ様子を描いたものでしょうか。主客が利用する上段の間の横で、見る人の心を和ませていたのかもしれない。

このかわい子犬たちの絵は、江戸時代中期ごろから京都の画家が好んで描いた画題でした。描き始めたのは「写生画」で名をはせた円山応挙(1733~1795年)といわれています。応挙は型にとられずに子犬を「かわいく」描きました。初めて描いたのは応挙が30代の頃。写生を基本とした応挙が長きにわたって描き続けたお気に入りの画題でした。応挙は犬の持つ「リアルなかわいさ」を切り取る新しい描き方にたどり着き、その瞬間を捉えた「応挙の子犬」の画風は、「かわい絵」が一世を風靡するきっかけとなりました。実物よりもさらに、ころころ、もふもふした応挙スタイルの犬の絵は江戸時代の人気キャラクターとして、大ヒットを続けます。

「応挙の子犬」の流行の陰に



▲狗子図腰高障子(草津宿本陣蔵)



▲狗子図(部分)

は大勢の門人がいました。画家としての個性の表現より、人々の暮らしのために描くことに重きを置いていた応挙の画風は、暮らしの中に美を求め、人々の広がりとともに、弟子たちによって広がっていったのです。

また、草津宿本陣の向上段の間に襖書が残る京都の儒学者、皆川淇園(1734~1807年)も応挙に画を学んだとされている一人です。画人仲間の中でも二人は特に親密であったようで、二人に関わる設えが本陣上段棟に残っているのも興味深いところです。

「狗子図腰高障子」の子犬たちは、草津宿街道交流館の常設展示で、いつもかわいく皆さんを迎えています。

問 草津宿街道交流館(草津三) ☎567-0030、FAX567-0031

Kusatsu Information

いつでもどこでも「広報くさつ」



市ホームページ



ラジオえふえむ草津 (FM78.5MHz) 「声の広報」



スマートフォン用アプリ

- マチイロ
- SideBooks(ちいき本棚)

市公式ソーシャルメディア



草津市メール配信サービス

市の情報をメールで配信するサービス



くさつチャンネル

動画や、びわ湖放送(BBC)の草津スケッチも!



市の花 アオバナ



市の木 キンモクセイ

1月31日現在(対前月比)

- 人口141,274人(-30)
- 世帯数65,749世帯(+6)
- 男70,691人(-34)
- 女70,583人(+4)



昨年7月から
開庁時間を
変更しました

変更後

9:00~16:45

ご理解とご協力をお願いします。詳しくは、市ホームページをご覧ください。

